2012年3月期
第2四半期決算説明会

2011年 11月 17日

喜びを創り喜びを提供する

寿スピリッツ

http://www.okashinet.co.jp

証券コード 2222

目次

喜びを創り喜びを提供する
寿スピリッツ

■ 2012年3月期　第2四半期決算概要　P　1～14

■ 2012年3月期　通期業績予想　P 15～19

■ 今後の経営方針とセグメント別業績の概況　P 20～36

■ 株式の状況･株主還元　P 37～43

■ 参考情報　P 44～61

2012年3月期　第２四半期決算概要

2012年3月期第2四半期（累計）の業績ハイライト

2Q（7-9）は、震災影響による自粛ムードの緩和、事業施策の積極展開により増収・増益に。

四半期別業績

（単位：百万円）

	1Q会計 (11.4-6)	2Q会計 (11.7-9)	2Q累計 (11.4ー9)
売上高 (対前年同期比)	4,253 (△4.4%)	4,805 (＋1.8%)	9,059 (△1.2%)
営業利益 (対前年同期比)	81 (△64.3%)	394 (＋14.4%)	475 (△17.3%)
経常利益 (対前年同期比)	80 (△66.8%)	378 (＋5.8%)	458 (△23.7%)

上半期のトピックス

・ルタオ新規出店　最大級店舗「パトス」（5月）、「新千歳空港店」（7月）

・つきじちとせ洋菓子ブランド初出店「東京ミルクチーズ工場」ルミネ新宿店（8月）



「パトス」



「ルタオ新千歳空港店」



ルミネ新宿店　「東京ミルクチーズ工場」

2012年3月期第2四半期（累計）業績（対前年同期）

売上高　前年同期比1.2%減、経常利益　前年同期比23.7%減

（百万円、%）	前第2四半期（10年4月～9月）		当第2四半期（11年4月～9月）		対前年同期		前期（参考）（10年4月～11年3月）	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	9,170	―	9,059	―	△ 111	△ 1.2	18,432	―
売上総利益	4,428	48.3	4,393	48.5	△ 35	△ 0.8	8,989	48.8
販売管理費	3,854	42.0	3,918	43.2	64	1.7	7,735	42.0
営業利益	574	6.3	475	5.2	△ 99	△ 17.3	1,254	6.8
経常利益	600	6.5	458	5.1	△ 142	△ 23.7	1,315	7.1
四半期（当期）純利益	268	2.9	220	2.4	△ 47	△ 17.6	580	3.1
EPS（円）	25.80		21.25		△ 4.56	△ 17.7	55.93	

セグメント別の業績（対前年同期）

ケイシイシイ、九十九島グループ、但馬寿が震災の影響などにより減収・減益

販売子会社が好調

（百万円、％）	売上高				営業利益		
	前第2Q	当第2Q	増減額	増減率	前第2Q	当第2Q	増減額
ケイシイシイ	3,192	3,170	△ 23	△ 0.7	239	127	△ 113
寿製菓	3,340	3,329	△ 11	△ 0.3	200	212	13
販売子会社11社	2,011	2,075	64	3.2	64	95	32
九十九島グループ	1,436	1,367	△ 70	△ 4.9	43	28	△ 15
但馬寿	548	509	△ 40	△ 7.2	46	30	△ 16
つきじちとせ	329	373	44	13.3	△ 26	△ 8	18
その他	3	2	△ 0	△ 14.3	1	0	△ 1
セグメント計	10,860	10,824	△ 35	△ 0.3	567	485	△ 81
（調整額）	(1,690)	(1,766)	(76)	4.5	7	(11)	△ 18
合計	9,170	9,059	△ 111	△ 1.2	574	475	△ 99

（２０１２年３月期第２四半期累計業績の主要セグメントの状況）

●ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、売上高は、通信販売が夏場の受注低迷などにより前年同期を下回った一方、道内店舗が５月の大型店舗「パトス」、７月の新千歳空港店、２店の新規出店効果、大丸札幌店の好調などにより、前年同期を上回り、全体では微減で収束。営業利益は新規出店の立上費用の発生、通販の販促費用の増加に伴い販売管理費が増加し、減益に。

●寿製菓

寿製菓は、売上高は、関東圏の代理店向けが震災影響などにより低迷した一方、地元山陰地区では「白ウサギフィナンシェ」のＰＲ展開強化、また、グループ向けが堅調に推移し、全体では微減で収束。営業利益は販売管理費の減少により微増で推移。

●販売子会社

販売子会社は、交通拠点チャンネルを中心に販売強化に努め、名古屋地区での新商品展開、関西地区でのコンディトライ神戸の生ギフト展開など好調に推移した結果、増収・増益に。

●つきじちとせ

つきじちとせは、早期の業績回復に向け、本年６月に洋菓子系ブランドを立上げ羽田空港催事の強化に努める。８月に出店した新宿ルミネは順調スタート。

売上高（販売チャンネル別）

通信売上が減収　店舗販売は、前年同期を上回る

（百万円、%）	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期（参考）	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	9,170	―	9,059	-	△ 111	△ 1.2	18,432	―
通信販売	1,165	12.7	1,048	11.6	△ 118	△ 10.1	2,399	13.0
（内ルタオ）	1,026	11.2	902	10.0	△ 124	△ 12.1	2,110	11.4
店舗販売	3,151	34.4	3,307	36.5	156	5.0	6,948	37.7
卸売	4,853	52.9	4,703	51.9	△ 150	△ 3.1	9,085	49.3

（注）店舗販売は、主に直営店舗、催事販売
　　卸売は、主に小売店（交通機関、旅館・ホテル、テーマパークなど）向け、OEMなど

売上原価･売上総利益

売上総利益率が、前年同期に対し0.2ポイント増加

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	9,170	―	9,059	―	△ 111	△ 1.2	18,432	―
材料費	2,657	29.0	2,701	29.8	44	1.7	5,206	28.2
労務費	1,293	14.1	1,312	14.5	19	1.5	2,562	13.9
製造経費	594	6.5	616	6.8	22	3.7	1,226	6.7
製造原価計	4,544	49.6	4,629	51.1	85	1.9	8,995	48.8
その他	198	2.2	37	0.4	△ 161	△ 81.3	448	2.4
売上原価合計	4,742	51.7	4,666	51.5	△ 76	△ 1.6	9,443	51.2
売上総利益	4,428	48.3	4,393	48.5	△ 35	△ 0.8	8,989	48.8

販売管理費・営業利益

売上高対販売管理費比率　1.2ポイント増加

新規出店の立上費用の発生、通販の販促費用の増加などが要因

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	4,428	48.3	4,393	48.5	△ 35	△ 0.8	8,989	48.8
人件費	1,463	16.0	1,488	16.4	25	1.7	2,871	15.6
販売促進費	745	8.1	797	8.8	52	6.9	1,652	9.0
運賃	365	4.0	304	3.4	△ 61	△ 16.8	693	3.8
広告宣伝費	230	2.5	185	2.0	△ 45	△ 19.5	403	2.2
地代家賃	265	2.9	289	3.2	25	9.3	534	2.9
減価償却費	129	1.4	139	1.5	9	7.3	269	1.5
旅費交通費	101	1.1	109	1.2	8	8.2	211	1.1
その他	556	6.1	607	6.7	51	9.1	1,103	6.0
販売管理費	3,854	42.0	3,918	43.2	64	1.7	7,735	42.0
営業利益	574	6.3	475	5.2	△ 99	△ 17.3	1,254	6.8

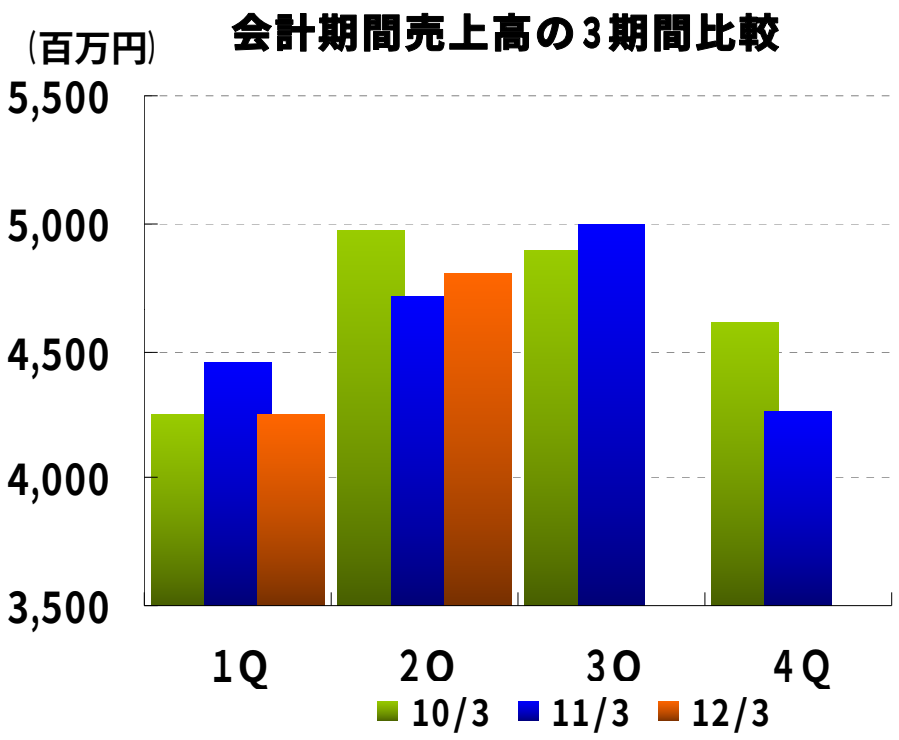
公表数字に対する達成率

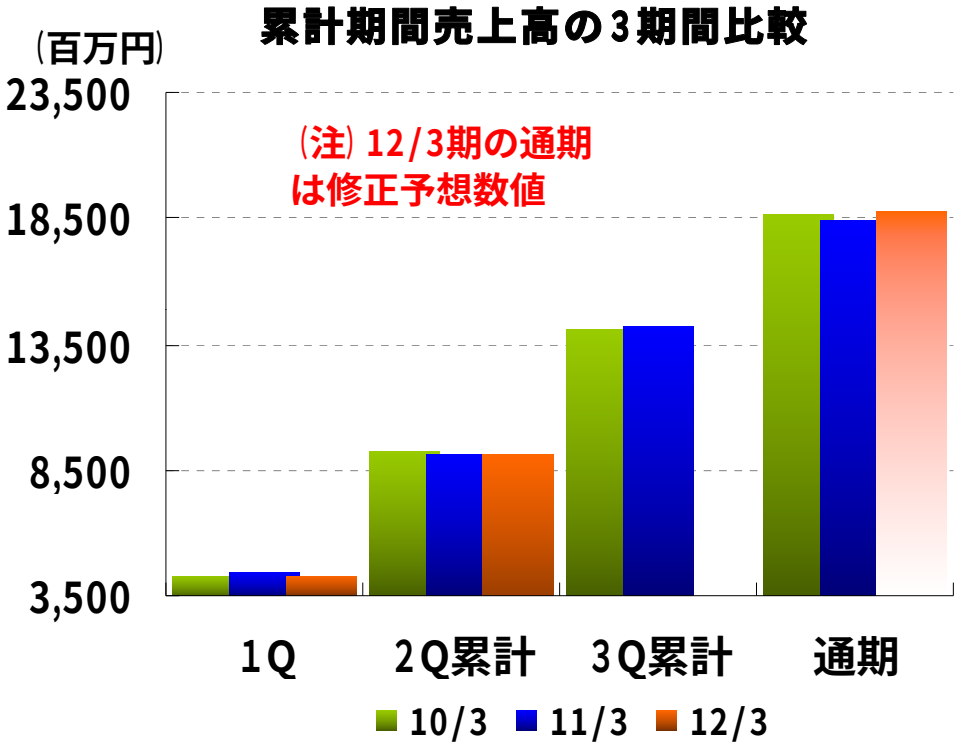
売上面・利益面ともに修正予想数値を達成！

(百万円、%)	期初予想 H23.5.12公表		修正予想 H23.8.1公表		12年3月期2Q		対修正予想	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	7,950	―	8,480	―	9,059	―	579	106.8
売上総利益	3,770	47.4	4,070	48.0	4,393	48.5	323	107.9
販売管理費	3,750	47.2	3,800	44.8	3,918	43.2	118	103.1
営業利益	20	0.3	270	3.2	475	5.2	205	175.9
経常利益	10	0.1	260	3.1	458	5.1	198	176.0
四半期純利益	△ 35	△ 0.4	90	1.1	220	2.4	130	244.9

四半期業績の推移（売上高）

4月は震災影響により大きく落ち込んだものの、5月以降は概ね前年並みに回復



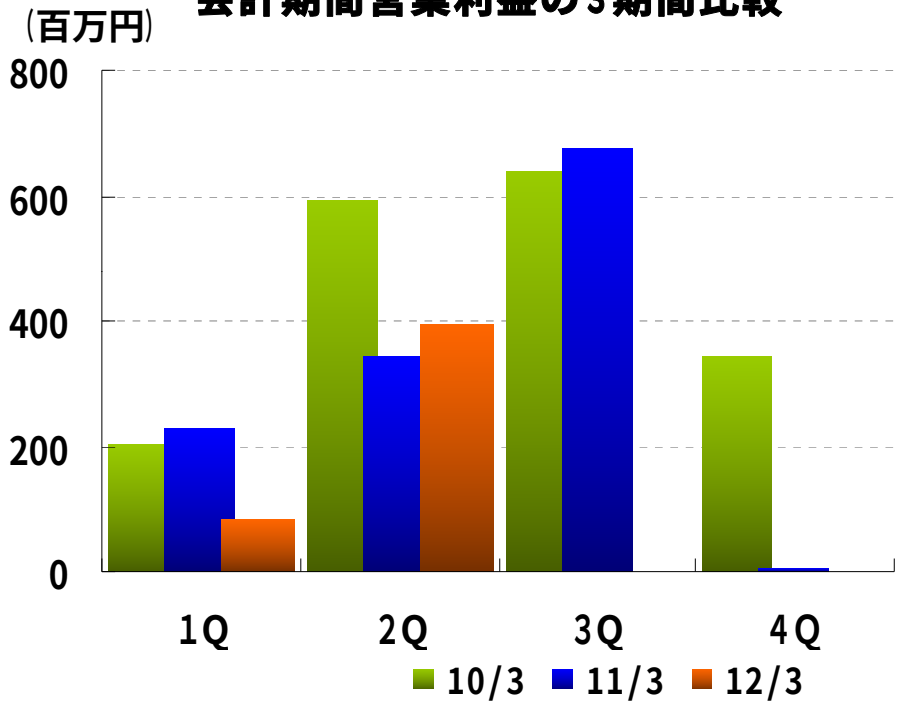


	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
10/3	4,245	4,970	4,896	4,610	4,245	9,216	14,112	18,721
11/3	4,451	4,719	5,000	4,262	4,451	9,170	14,170	18,432
12/3	4,253	4,805			4,253	9,059		18,850
増減率	-4.4%	1.8%			-4.4%	-1.2%		2.3%

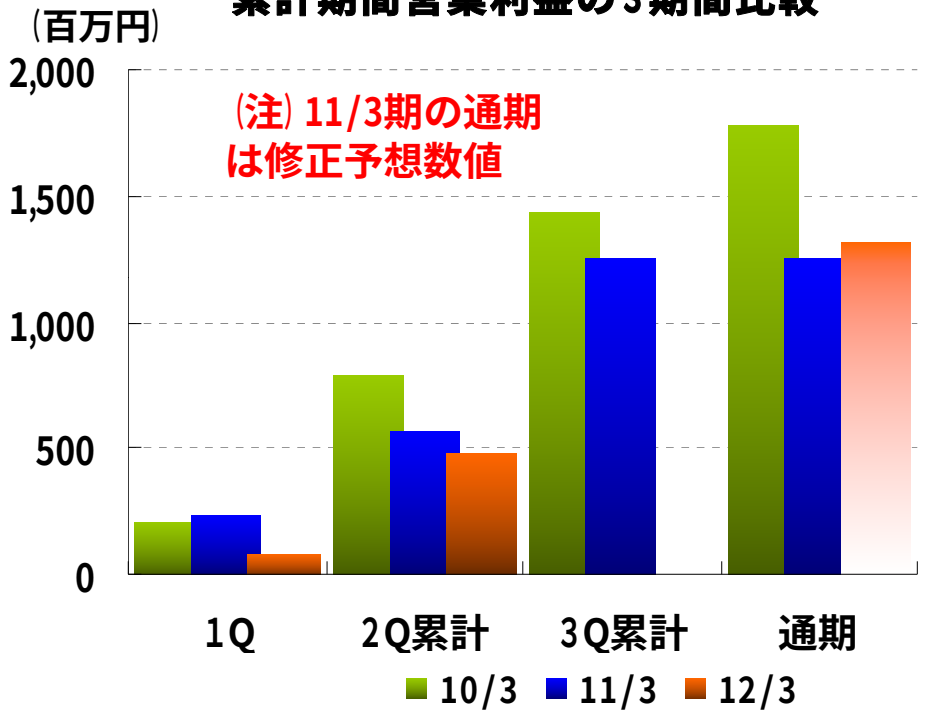
四半期業績の推移（営業利益）

売上同様に、5月以降は概ね前年並みに回復

会計期間営業利益の３期間比較



累計期間営業利益の３期間比較



	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
10/3	200	592	639	345	200	793	1,432	1,777
11/3	227	345	675	6	227	574	1,249	1,254
12/3	81	394			81	475		1,320
増減率	-64.3%	14.4%			-64.3%	-17.3%		5.2%

貸借対照表

自己資本比率は前期末に比べ2.0ポイント低下

(百万円、%)	10年3月期		11年3月期		12年3月期2Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	5,394	42.7	4,882	39.6	5,130	40.0	248	5.1
固定資産	7,242	57.3	7,435	60.4	7,696	60.0	261	3.5
資産合計	12,636	100.0	12,317	100.0	12,826	100.0	509	4.1
流動負債	5,038	39.9	4,560	37.0	4,633	36.1	72	1.6
固定負債	2,122	16.8	1,982	16.1	2,441	19.0	458	23.1
負債合計	7,160	56.7	6,543	53.1	7,073	55.1	531	8.1
純資産	5,476	43.3	5,774	46.9	5,752	44.9	△ 22	△ 0.4
負債純資産合計	12,636	100.0	12,317	100.0	12,826	100.0	509	4.1
BPS (円)	527.83 (注)		556.61		554.53		△ 2	△ 0.4
設備投資額	457		736		488			
減価償却費	530		545		284			

(注) 平成22年4月1日、株式分割(1:2)を実施、10/3期BPSは分割後に調整

- 流動資産の増加は、主に季節変動要因による受取手形及び売掛金、商品及び製品などの増加による。
- 固定資産の増加は、ケイシイシイの新店舗「パトス」に係る設備投資など。
- 長期借入金の増加は、ケイシイシイの設備資金など。

キャッシュ・フロー計算書

(百万円、%)	10年3月期	11年3月期		12年3月期	対前年同期	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	増減率
営業活動ＣＦ	1,563	139	907	376	237	170.7
投資活動ＣＦ	△ 509	△ 455	△ 809	△ 566	△ 111	24.4
フリーＣＦ	1,054	△ 316	98	△ 191	126	△ 39.8
財務活動ＣＦ	△ 674	△ 152	△ 531	157	308	△ 203.3
cash増減	379	△ 468	△ 433	△ 34	434	△ 92.7
cach期首	1,579	1,959	1,959	1,526	△ 433	△ 22.1
cash期末	1,959	1,491	1,526	1,492	1	0.1
有利子負債	3,935	4,060	3,700	4,134	74	1.8
現金・預金	2,509	2,035	2,067	2,033	△ 3	△ 0.1
ネット有利子負債※	1,426	2,025	1,632	2,102	76	3.8

※ネット有利子負債（有利子負債－現金・預金）

営業活動によるキャッシュ・フローが376百万円のキャッシュ・インがあった一方、有形固定資産の取得などで投資活動によるキャッシュ・フローは566百万円のキャッシュアウトがあったことにより、フリーキャッシュフローはマイナス191百万円となり前期に比べ増加。

2012年3月期　通期業績予想

2012年3月期　通期業績予想（前年対比）

売上高18,850百万円（前期比2.3%増）、経常利益1,300百万円（前期比1.1%減）

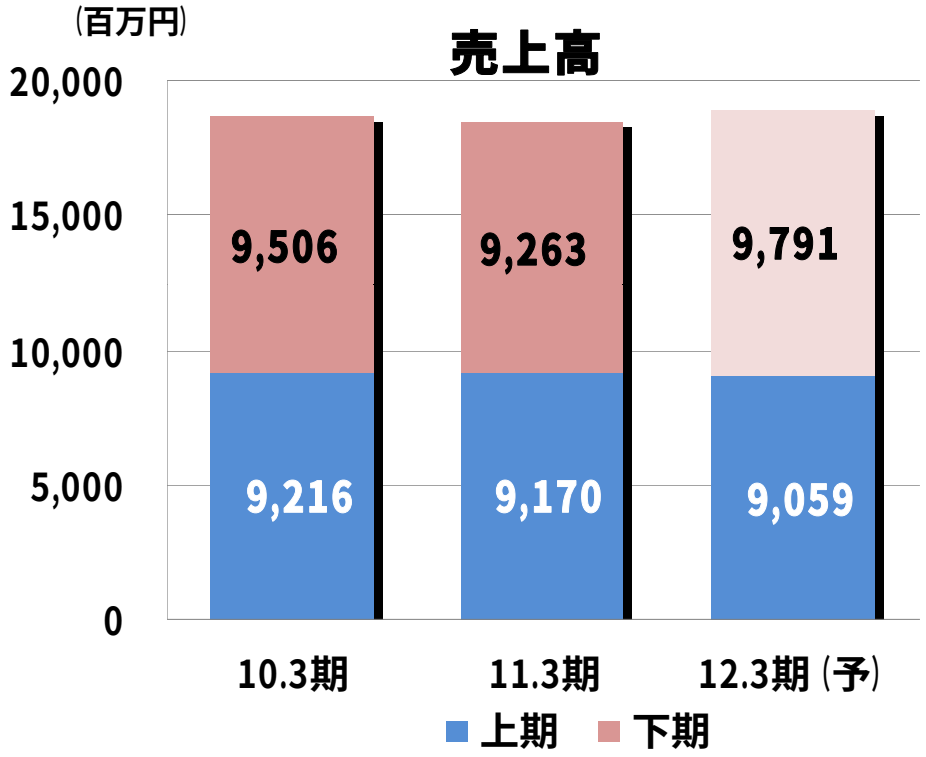
（百万円、%）	11年3月期		12年3月期（予想）		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	18,432	ー	18,850	ー	418	2.3
売上総利益	8,989	48.8	9,370	49.7	381	4.2
販売管理費	7,735	42.0	8,050	42.7	315	4.1
営業利益	1,254	6.8	1,320	7.0	66	5.2
経常利益	1,315	7.1	1,300	6.9	△ 15	△ 1.1
当期純利益	580	3.1	670	3.6	90	15.5
EPS（円）	55.93		64.59		8.66	15.5
1株当たり配当金（円）	25.00		20.00		△ 5.00	△ 20.0
設備投資	736		580		△ 156	△ 21.2
減価償却費	545		580		35	6.4

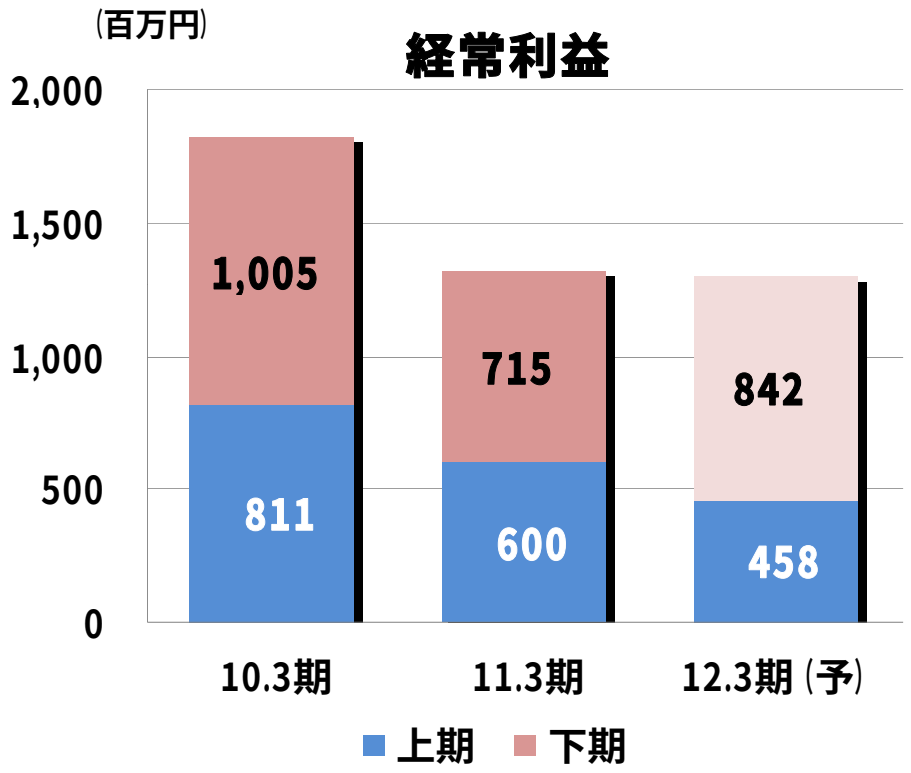
（2012年３月期　通期業績予想のポイント）

- 自粛ムードは回復基調が鮮明になってきている反面、消費動向は、今後の景気動向の不透明感、食の安全性に対する不安などにより商品・サービスに対する選択の目は厳しさを増している。
- 第２四半期業績の動向と今後の見通しを踏まえ、震災前に編成し変更していなかった下期計画を見直した結果、減収・減益予想から増収・増益予想に修正。下期は、クリスマス、バレンタインなどのイベント商戦に向けた販促活動の強化、新商品の投入などにより巻き返しを図る。
- 製菓原料・包装資材の価格動向を注視しながら、生産性の向上、高付加価値製品の開発などでコスト上昇を吸収させていく。

2012年3月期　通期業績予想（上期・下期比較）

下期の売上高・経常利益ともに高い伸びを示しているのは、11年３月の震災の影響により落ち込んだ反動。





	売上高						経常利益					
	10.3期	構成比	11.3期	構成比	12.3期（予）	構成比	10.3期	構成比	11.3期	構成比	12.3期（予）	構成比
上期	9,216	49.2%	9,170	49.7%	9,059	48.1%	811	44.6%	600	45.6%	458	35.2%
下期	9,506	50.8%	9,263	50.3%	9,791	51.9%	1,005	55.4%	715	54.4%	842	64.8%
通期	18,721	100.0%	18,432	100.0%	18,850	100.0%	1,816	100.0%	1,315	100.0%	1,300	100.0%

2012年3月期　通期業績予想（セグメント別）

ケイシイシイは、「ルタオ」クリスマス・バレンタインなどイベント商戦強化で巻き返し図る。前期3月は東日本大震災の影響により大幅な減収・減益を余儀なくされたが、今期は解消され反動見込む。

（百万円、％）	売上高				営業利益		
	11/3月期	12/3月期予	増減額	増減率	11/3月期	12/3月期予	増減額
ケイシイシイ	6,857	7,036	179	2.6	715	524	△ 191
寿製菓	6,350	6,570	220	3.5	290	400	110
販売子会社	3,920	4,090	170	4.3	105	172	67
九十九島グループ	2,942	2,904	△ 38	△ 1.3	112	145	33
但馬寿	989	979	△ 10	△ 1.0	61	59	△ 2
つきじちとせ	593	709	116	19.6	△ 74	△ 29	45
その他	5	5	△ 1	△ 14.7	1	0	△ 1
セグメント計	21,656	22,293	637	2.9	1,210	1,271	61
（調整額）	(3,224)	(3,443)	△ 219	ー	44	49	5
合計	18,432	18,850	418	2.3	1,254	1,320	66

今後の経営方針とセグメント別概況

今後の経営方針

（企業ビジョン＝目指すべき方向性）

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドの

総合プロデューサー

”地域性”および”専門店性”を追求した地域限定有店舗と
通信販売によるブランド戦略を推進

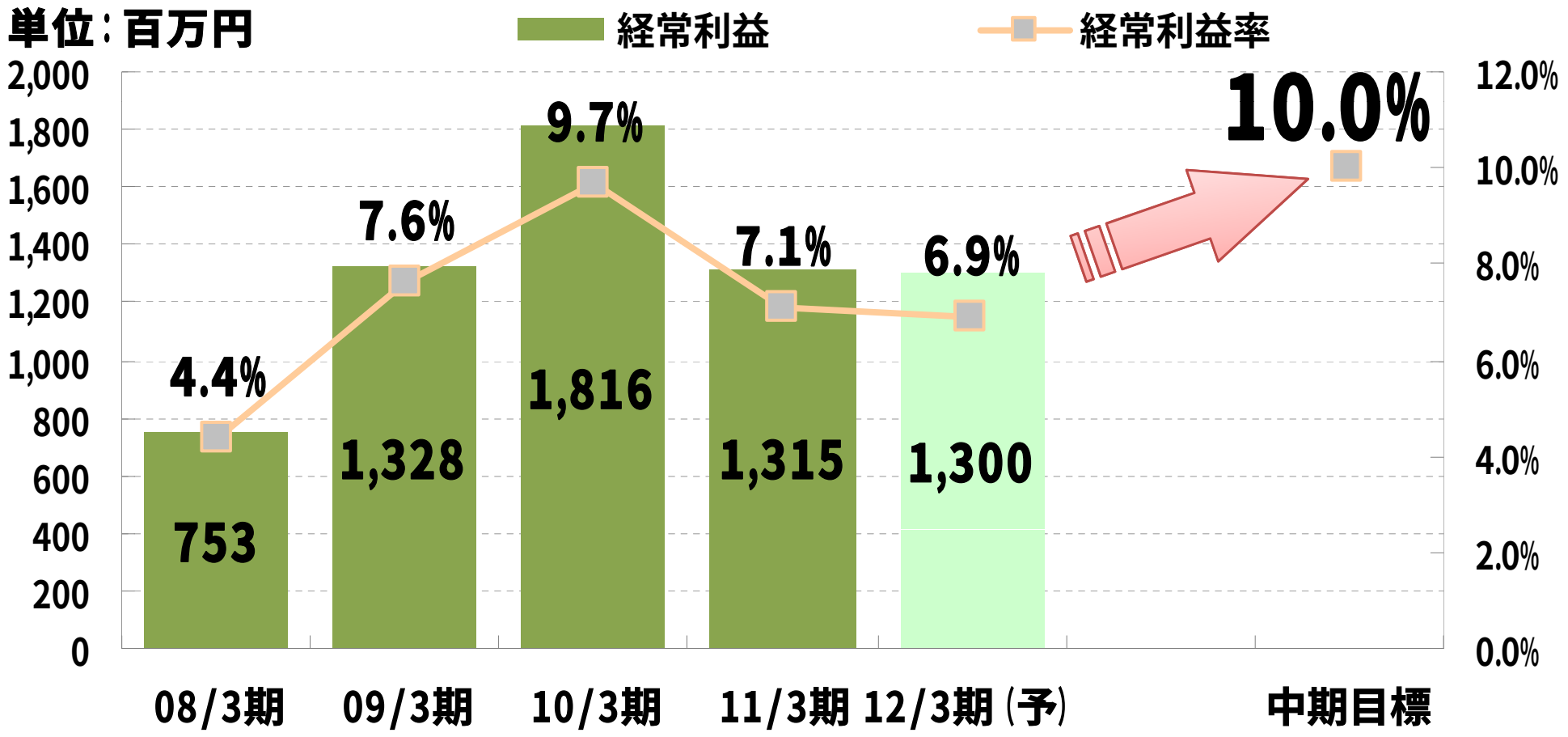
経営理念の具現化＝熱狂的ファン創り

新成長エンジン創り

□新商品開発　□新規出店　□新市場･需要の開拓
□人材の育成　□コンプライアンスの一層の強化

目標とする経営指標

売上高経常利益率　10%以上



重点市場①

●北海道「ＬｅＴＡＯ」の強固なブランドの確立

・新商品開発・人材育成・通販事業の強化
・リアル(店舗)とバーチャル(通販) の一体化



「ルタオ本店」



“ドゥーブルフロマージュ”

重点市場②

●東京事業の再構築

・洋菓子系ブランドの開発・出店

・自家需要チャンネルへの展開



「コートクールシュクレ」 羽田催事



ルミネ有楽町店 「TSUKIJI CHITOSE」

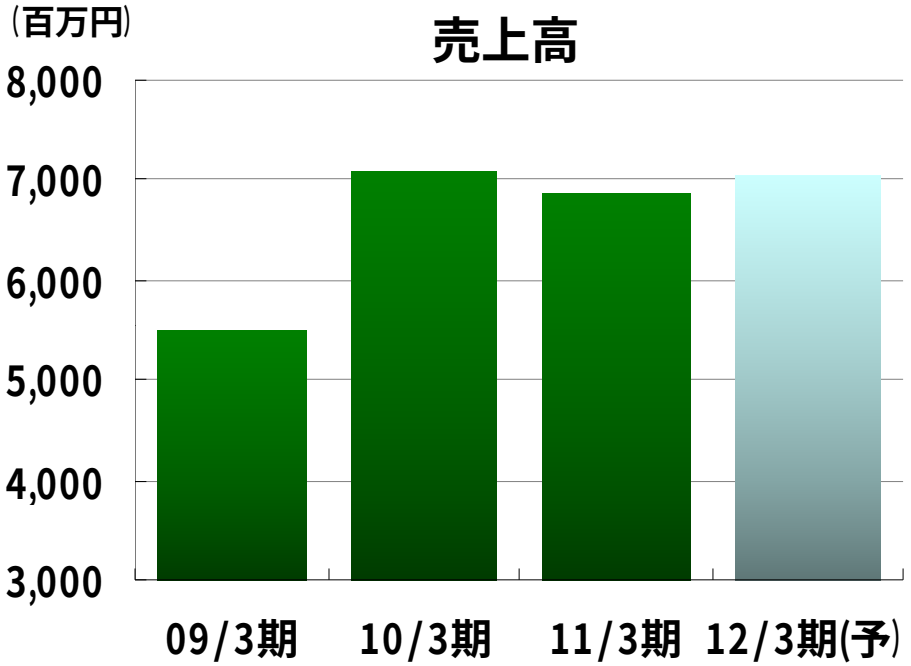
セグメント別概況

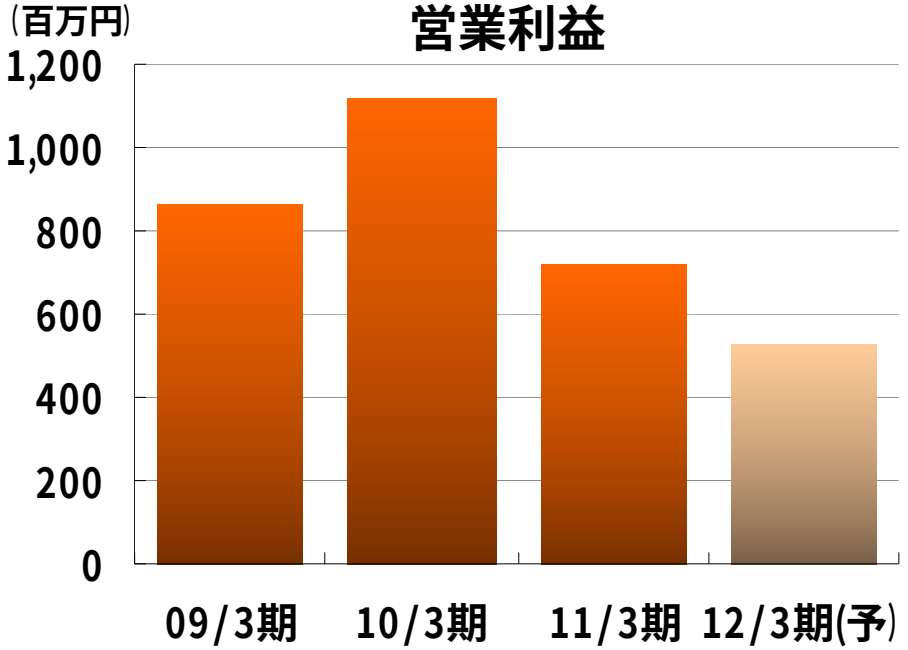


- ケイシイシイ
- 寿製菓
- 販売子会社　１１社
- 九十九島グループ
- 但馬寿
- つきじちとせ

≪ケイシイシイ≫

LeTAO　クリスマス･バレンタイン商戦に向け新商品投入、販促強化





(百万円,%)	09/3期	10/3期	11/3期	対前期		12/3期 (予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	5,519	7,104	6,857	△ 247	△ 3.5	7,036	179	2.6
売上総利益	3,077	4,280	4,042	△ 239	△ 5.6	4,192	150	3.7
粗利率	55.8	60.3	58.9	△ 1.3		59.6	0.6	
販売管理費	2,213	3,165	3,327	163	5.1	3,668	341	10.2
営業利益	865	1,116	715	△ 401	△ 36.0	524	△ 191	△ 26.7

ケイシイシイ部門別売上

ルタオ道内店舗は、新規出店と大丸札幌店の好調が寄与
通信販売は対前年同期比12.1%減

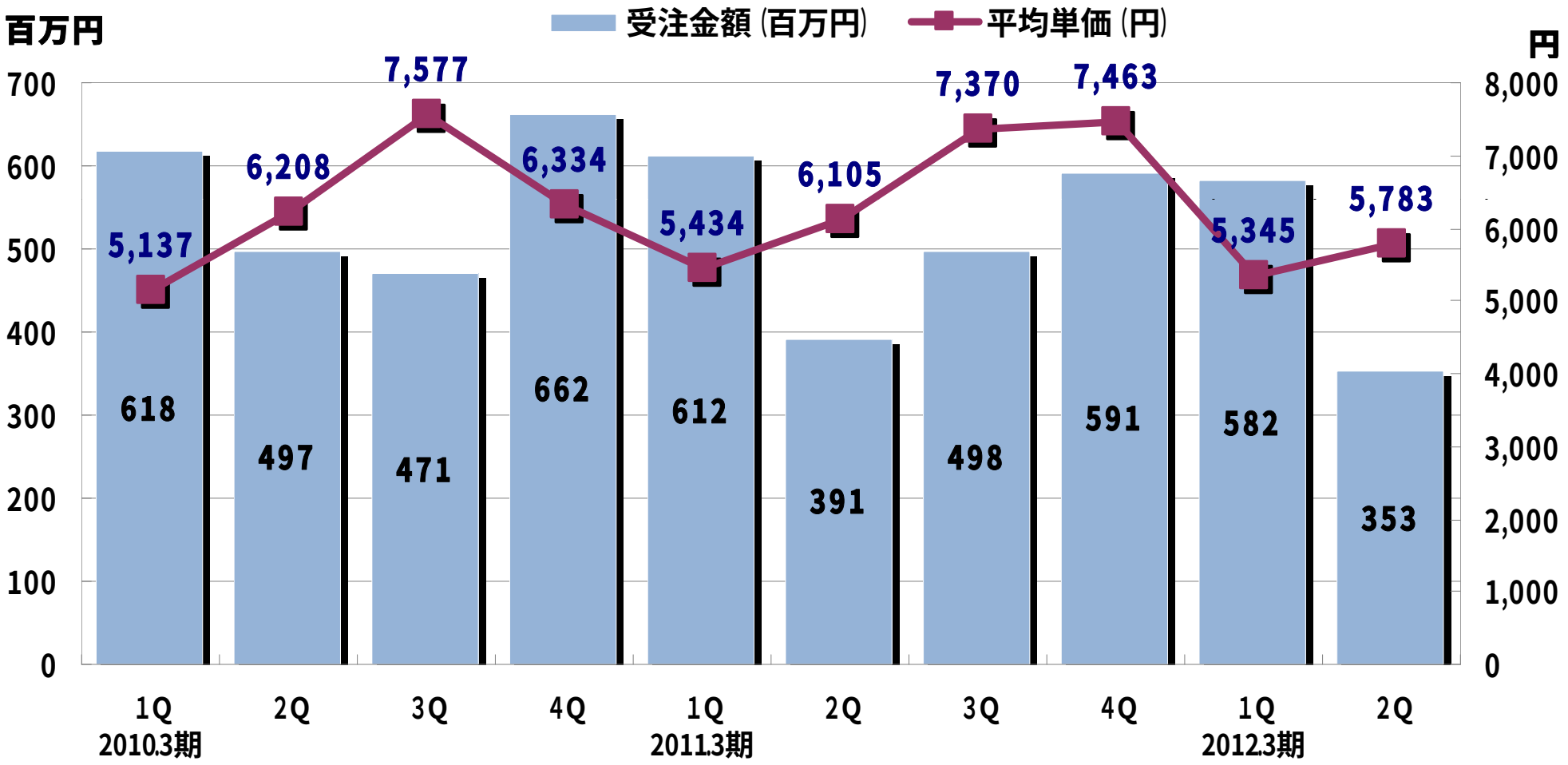
(百万円、%)	11/3期		12/3期（予）				対前期	
	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	増減率	通期	増減額	増減率
代理店	159	340	115	△ 44	△ 27.5	256	△ 84	△ 24.8
グループ向け	227	526	217	△ 10	△ 4.3	510	△ 16	△ 3.0
LeTAO								
道内店舗	1,201	2,281	1,320	119	9.9	2,570	289	12.7
外商（道外催事等）	579	1,599	616	36	6.3	1,750	151	9.4
通信販売	1,026	2,110	902	△ 124	△ 12.1	1,950	△ 160	△ 7.6
LeTAO計	2,807	5,990	2,837	31	1.1	6,270	280	4.7
合計	3,192	6,857	3,170	△ 23	△ 0.7	7,036	179	2.6

- 道内店舗は、新規出店した小樽大型店「パトス」や空港直営店により増収を見込む。
- 外商は、関東圏での催事の増加により、前年を大きく上回るものと予想。
- 通信販売は、テレビCM、テレビ番組とのコラボ企画などプロモーションの積極展開により巻き返しを図る。

ルタオ通販の受注動向（四半期別）

新商品開発の強化、DM企画の充実、戦略的なプロモーション展開で新規顧客を獲得。

ルタオ通販の受注金額・1件当たりの平均単価の推移



≪ケイシイシイ≫

・“シンデレラ　デ フロマージュ”、“まあーる”PR展開強化を図る

・クリスマススペシャルスイーツ “きら　きら　きららら”発売！



“シンデレラ　デ　フロマージュ”



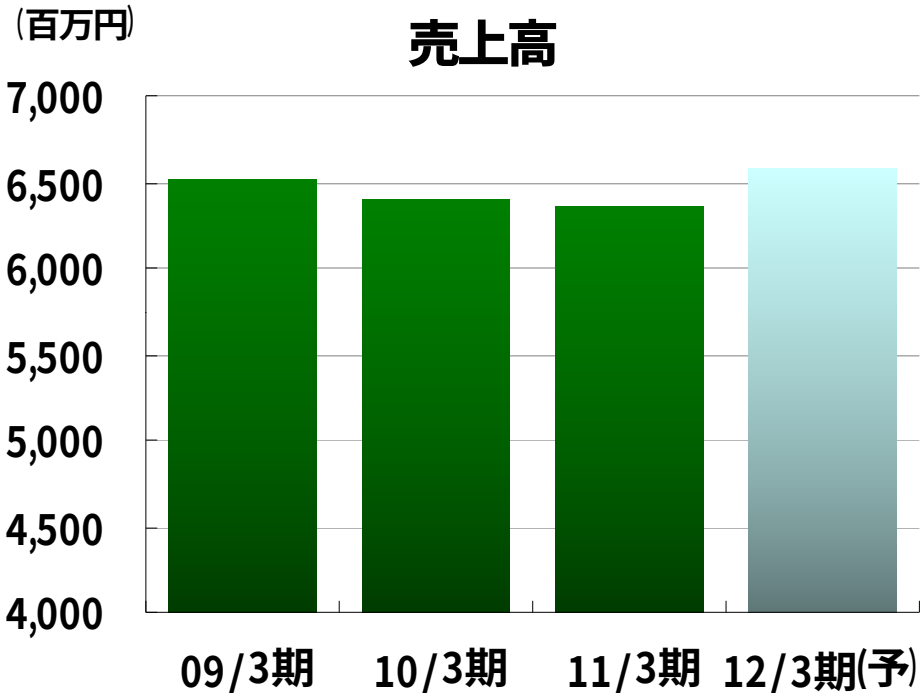
“ルタオプレミアまあある”

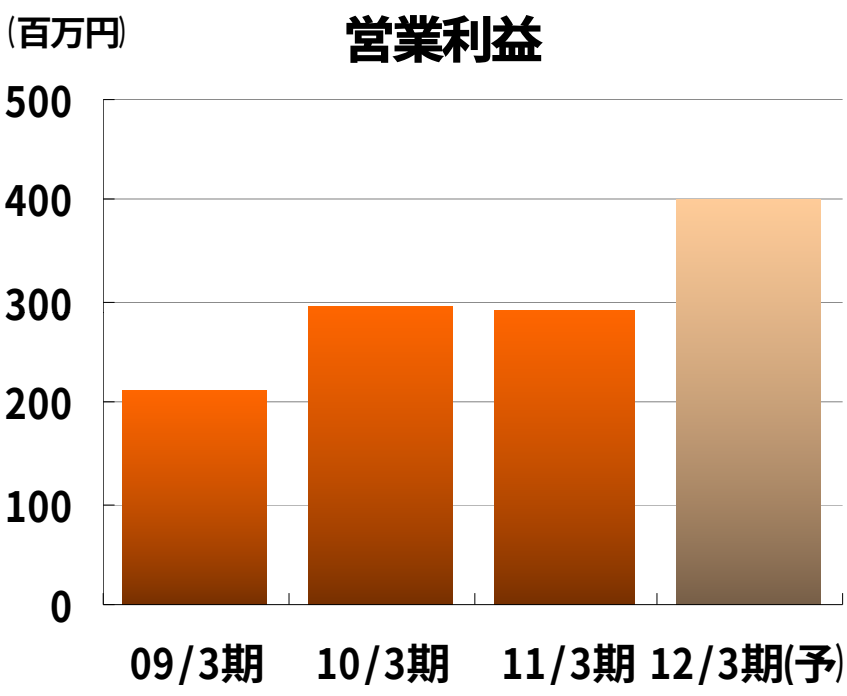


Xmasスペシャルスイーツ“きら　きら　きららら”

≪寿製菓≫

地元山陰シェア拡大とグループ会社向け新商品開発を推進





(百万円,%)	09/3期	10/3期	11/3期	対前期		12/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	6,519	6,398	6,350	△ 48	△ 0.8	6,570	220	3.5
売上総利益	2,135	2,193	2,207	14	0.7	2,330	123	5.6
粗利率	32.8	34.3	34.8	0.5		35.5	0.7	
販売管理費	1,923	1,896	1,917	22	1.1	1,930	13	0.7
営業利益	212	297	290	△ 7	△ 2.4	400	110	38.0

≪寿製菓≫

・“白ウサギフィナンシェ”2年連続モンドセレクション最高金賞受賞！

・カノザ“抹茶フォンドュ”モンドセレクション金賞受賞PR展開強化



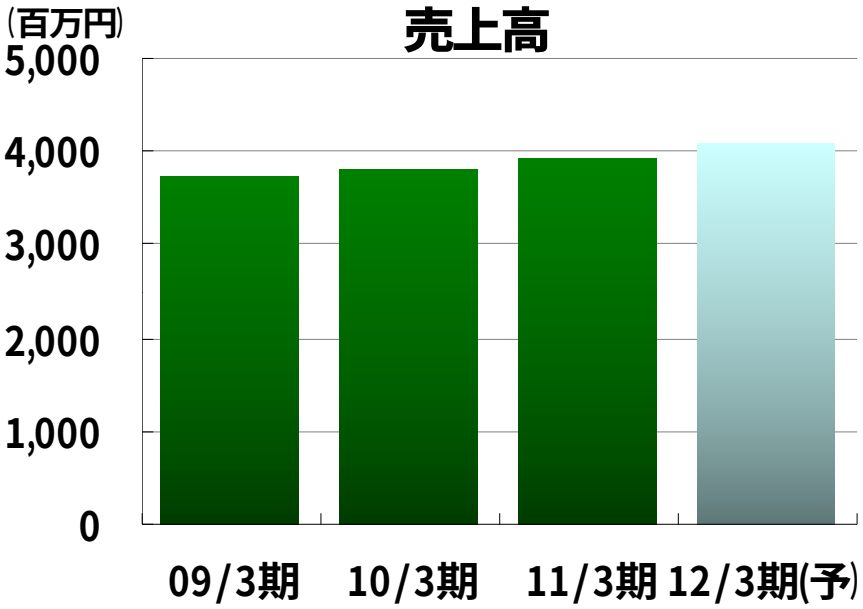
“白ウサギフィナンシェ”

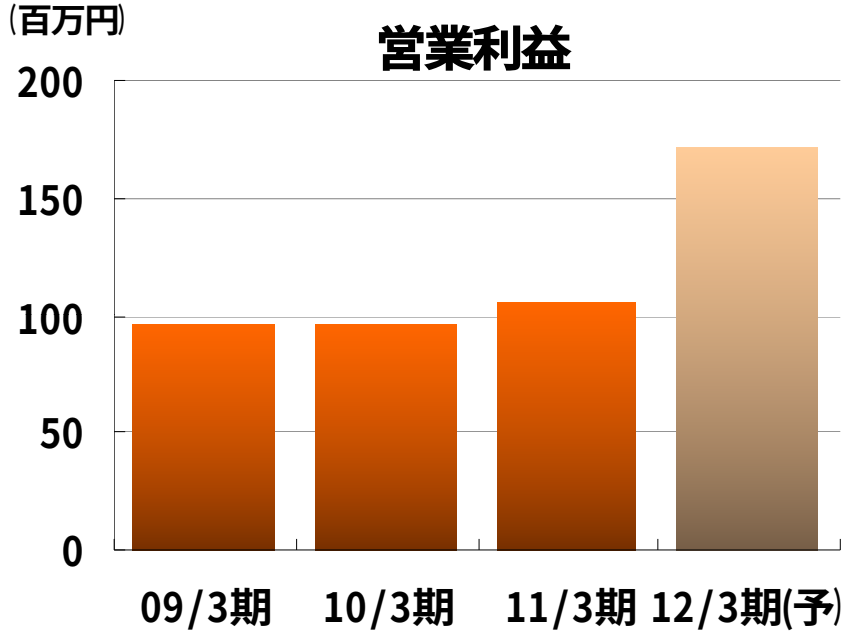


“抹茶フォンドュ”

≪販売子会社　11社≫

交通拠点（駅・空港・ＳＡ）チャンネル展開を強化





(百万円,%)	09/3期	10/3期	11/3期	対前期		12/3期（予）	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,569	3,733	3,790	57	1.5	3,883	93	2.5
売上総利益	955	1,052	1,080	28	2.7	1,123	43	4.0
粗利率	26.8	28.2	28.5	0.3		28.9	0.4	
販売管理費	990	956	986	30	3.1	1,025	39	4.0
営業利益	△ 35	96	95	△ 2	△ 1.9	98	4	4.2

≪販売子会社　11社≫



「コンディトライ神戸」　新神戸アントレマルシェ店



“宮崎マンゴーラングドシャ”　(南寿製菓)



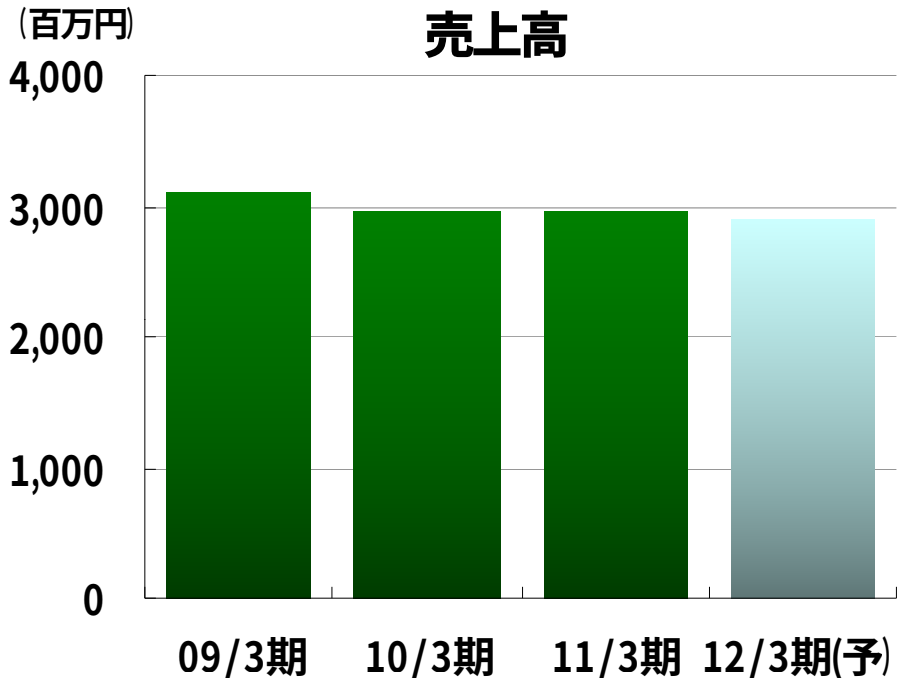
「コンディトライ神戸」“神戸バニラフロマージュ”

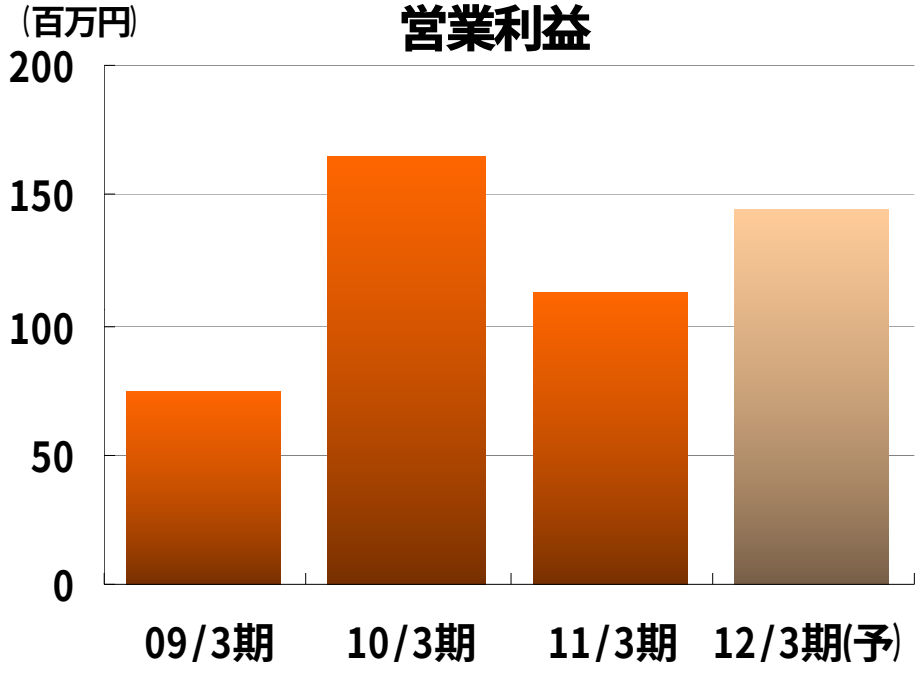


“小倉トーストラングドシャ”　(東海寿)

≪九十九島グループ≫

地元福岡・長崎シェア拡大に向け新商品の拡販、販促強化

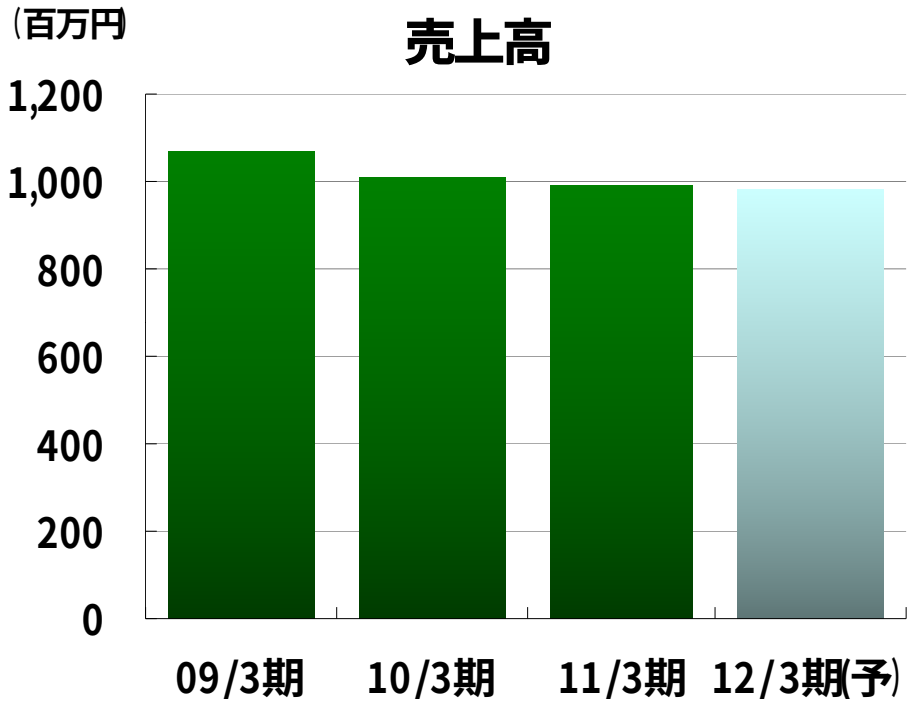


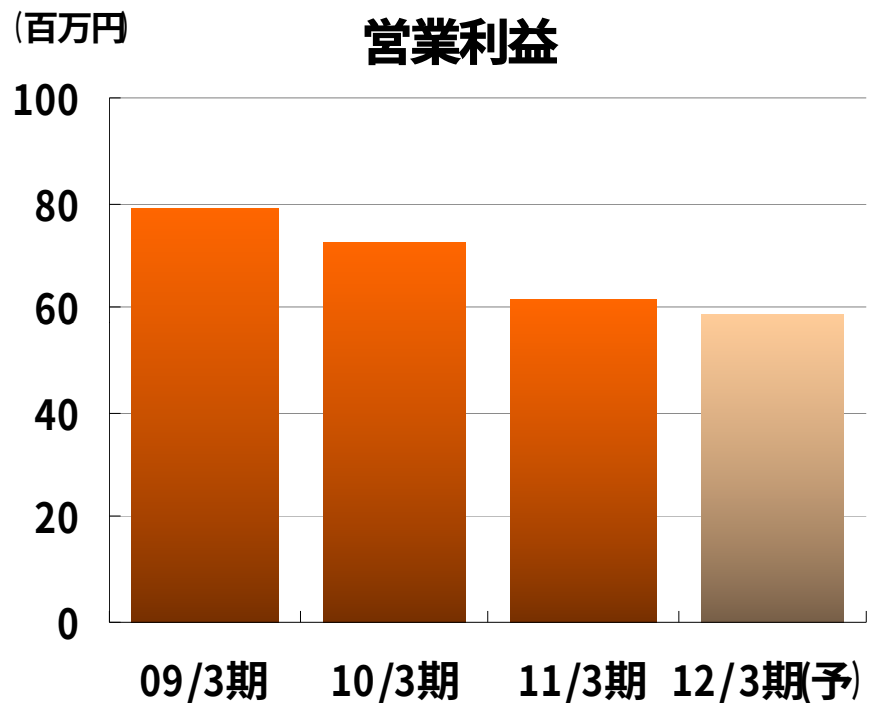


(百万円,%)	09/3期	10/3期	11/3期	対前期		12/3期 (予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,100	2,954	2,942	△ 12	△ 0.4	2,904	△ 38	△ 1.3
売上総利益	1,125	1,165	1,136	△ 29	△ 2.5	1,139	3	0.3
粗利率	36.3	39.4	38.6	△ 0.8		39.2	0.6	
販売管理費	1,051	1,001	1,023	23	2.3	994	△ 29	△ 2.9
営業利益	74	164	112	△ 52	△ 31.6	145	33	29.0

≪但馬寿≫

通信販売と新商品開発を推進

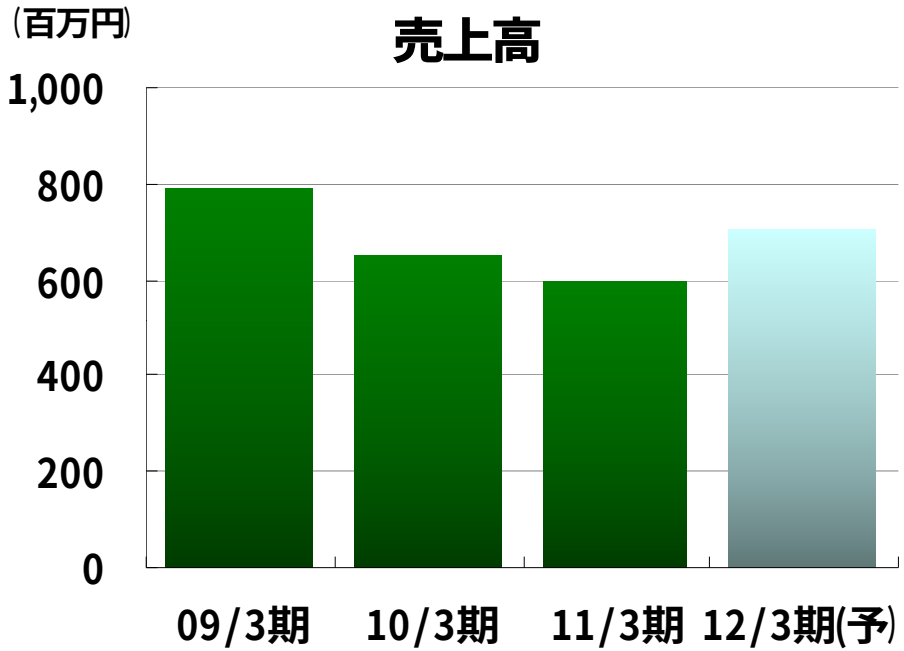


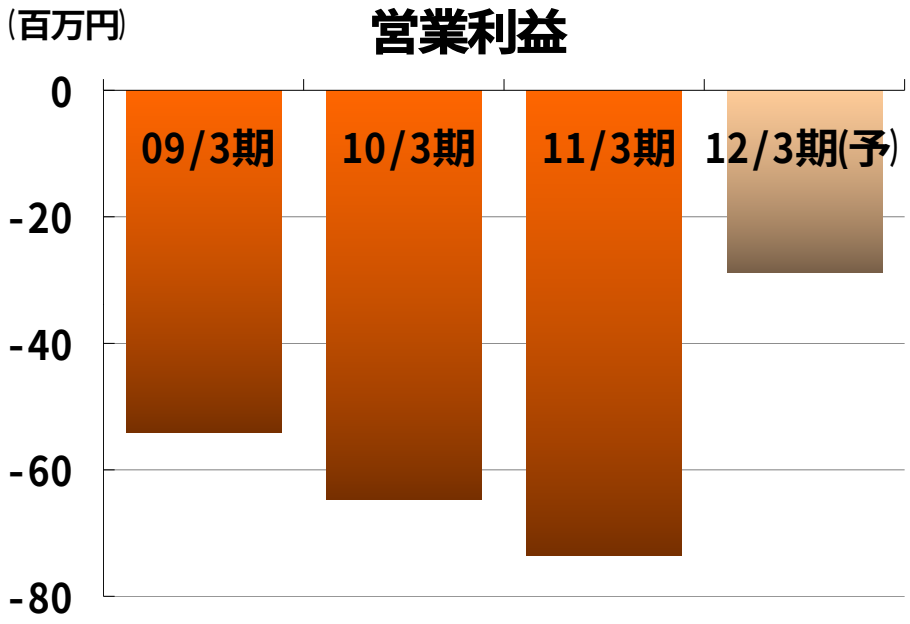


(百万円,%)	09/3期	10/3期	11/3期	対前期		12/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	1,071	1,010	989	△ 21	△ 2.1	979	△ 10	△ 1.0
売上総利益	297	274	263	△ 10	△ 3.8	267	4	1.3
粗利率	27.8	27.1	26.6	△ 0.5		27.3	0.6	
販売管理費	218	202	202	0	0.2	208	6	3.0
営業利益	79	72	61	△ 11	△ 14.9	59	△ 2	△ 4.0

≪つきじちとせ≫

事業の抜本的見直し推進。ルミネ展開が順調スタート。





(百万円,%)	09/3期	10/3期	11/3期	対前期		12/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	788	651	593	△ 58	△ 8.9	709	116	19.6
売上総利益	357	295	250	△ 45	△ 15.2	312	62	24.9
粗利率	45.3	45.3	42.1	△ 3.1		44.0	1.9	
販売管理費	411	359	323	△ 36	△ 10.0	341	18	5.4
営業利益	△ 54	△ 65	△ 74	△ 9	―	△ 29	45	―

株式の状況・株主還元

株式の状況

(2011年9月30日現在)

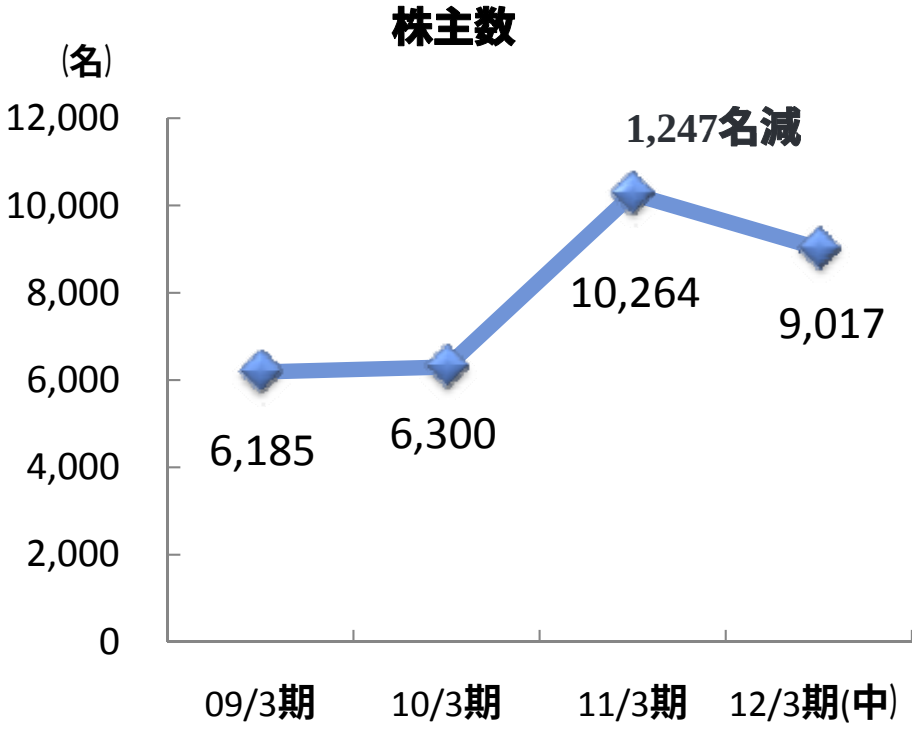
■発行可能株式総数　30,400,000株

■発行済株式総数　10,373,840株

■単元株式数　100株

■株主数　9,017名

(対前期末比　1，247名減)



■大株主 (上位5位)

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
河越誠剛	3,571,800	34.43
寿スピリッツ従業員持株会	434,600	4.19
河越庄市	338,600	3.26
株式会社山陰合同銀行	300,000	2.89
株式会社鳥取銀行	254,000	2.45

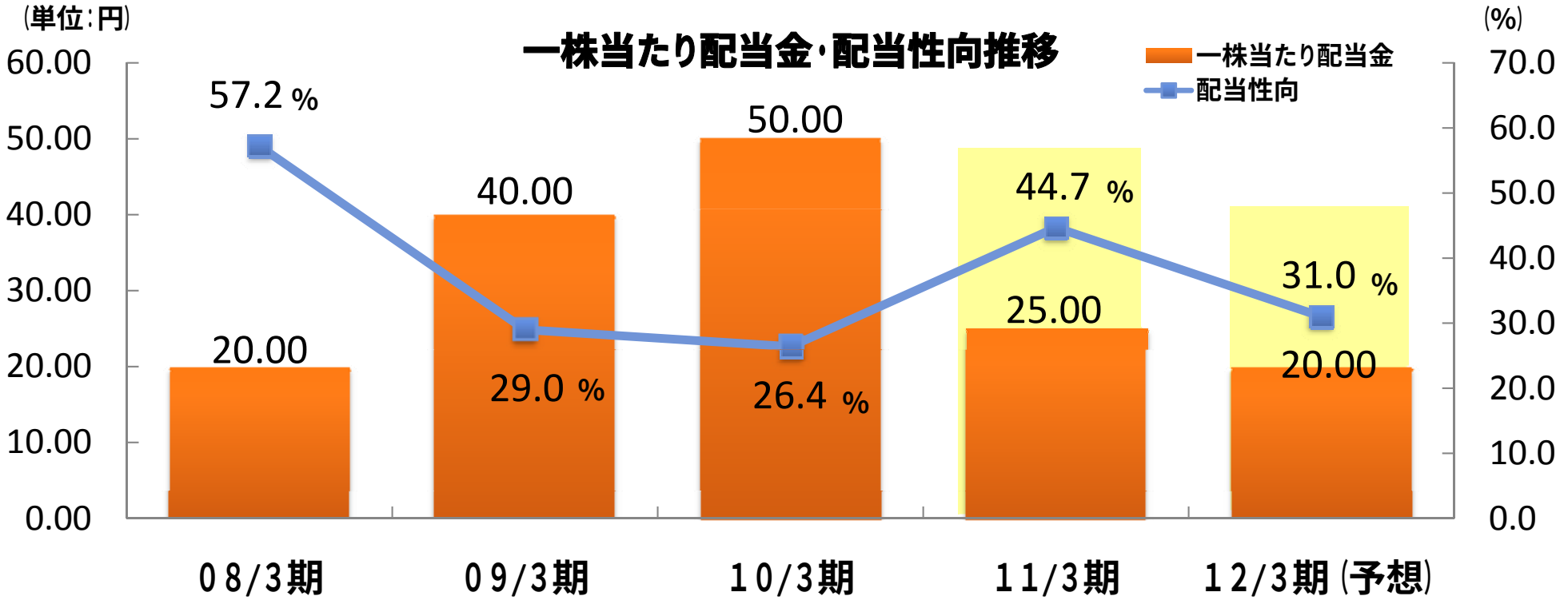
注) 出資比率は、自己株式277株を除く

株主還元

■配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元に努めることを基本方針としております。

■2012年3月期1株当たり配当金予想　20円



(注) 2010年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。予想一株当たり配当金及び予想配当額は分割後の発行済株式数により算出しており、分割前に遡及修正して換算すると予想配当額は、1株当たり50円となります。

・08年3月期は、役員退職慰労引当金の特別計上など会計制度変更に伴う特殊要因などにより当期純利益が大幅に減少したため、配当性向が大幅に増加している。

株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

100株以上ご所有すべての株主様に2,000円相当の自社グループ製品を贈呈

200株以上ご所有すべての株主様に4,000円相当の自社グループ製品を贈呈
更に
1,000株以上ご所有の株主様に3,000円分のグループ直営店舗優待券を贈呈
(優待券の代わりに指定商品への交換も可)

【2011年度の株主優待商品】

100株以上ご所有の株主様
2,000円相当の当社グループ商品



200株以上ご所有の株主様
4,000円相当の当社グループ商品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様



映画「山本五十六」に出資

・映画「聯合艦隊司令長官　山本五十六」制作プロジェクトに出資参加



10/28より新発売　！
「山本五十六　に食べさせたかった　水まんじゅう」
ルミネ有楽町店で販売



・本日は、決算説明会にご出席
いただき誠に有難うございました。
・今後とも寿スピリッツグループを
何卒宜しくお願い致します。

＜お問い合わせ＞
寿スピリッツ株式会社　経営企画部
TEL　0859－22－7477
E-mai　kotgrptop@okashinet.co.jp
URL　http://www.okashinet.co.jp

注意事項
この資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
また、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値、施策実現を確約したり、保証するものではありません。

寿心

《参考情報》

会社概要

商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222（JASDAQ　スタンダード）
会社所在地	〒683-0845　　鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越　誠剛
従業員数	単体　6名・連結　875名
グループ会社	製造子会社5社・販売子会社11社・その他1社　　計17社
連結売上高	184億円（2011年3月期）

2011年9月30日現在

沿革（1）

1952年4月	（昭和27年）	鳥取県米子市角盤町に寿製菓株式会社を設立し、飴菓子等の製造を開始。
1959年4月	（昭和34年）	観光土産菓子部門に進出。
1968年11月	（昭和43年）	銘菓"因幡の白うさぎ"を発売し、観光土産用菓子の高級化に取組む。
1972年4月	（昭和47年）	石川県加賀市に株式会社コトブキ（現 株式会社北陸寿）を設立。　その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
1979年5月	（昭和54年）	現在地（鳥取県米子市）に本社工場を新築移転。
1987年3月	（昭和62年）	兵庫県美方郡新温泉町に株式会社但馬寿を設立。
1988年	（昭和63年）	地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子＝果子』をコンセプトに他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】



“因幡の白うさぎ”



寿製菓㈱　本社工場 外観



㈱但馬寿 外観

沿革（2）

1993年4月　（平成5年）　鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『お菓子の壽城』を設置。小売事業に本格着手。

1994年11月　（平成6年）　ジャスダック上場

1996年4月　（平成8年）　北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー（現株式会社ケイシイシイ）を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。

1998年6月　（平成10年）　創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。

北海道小樽市に株式会社ケイシイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。

2005年2月　（平成17年）　営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造･販売事業を継承し、「株式会社九十九島グループ」スタート。

2006年10月　（平成18年）　寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。



お菓子の壽城



小樽洋菓子舗ルタオ

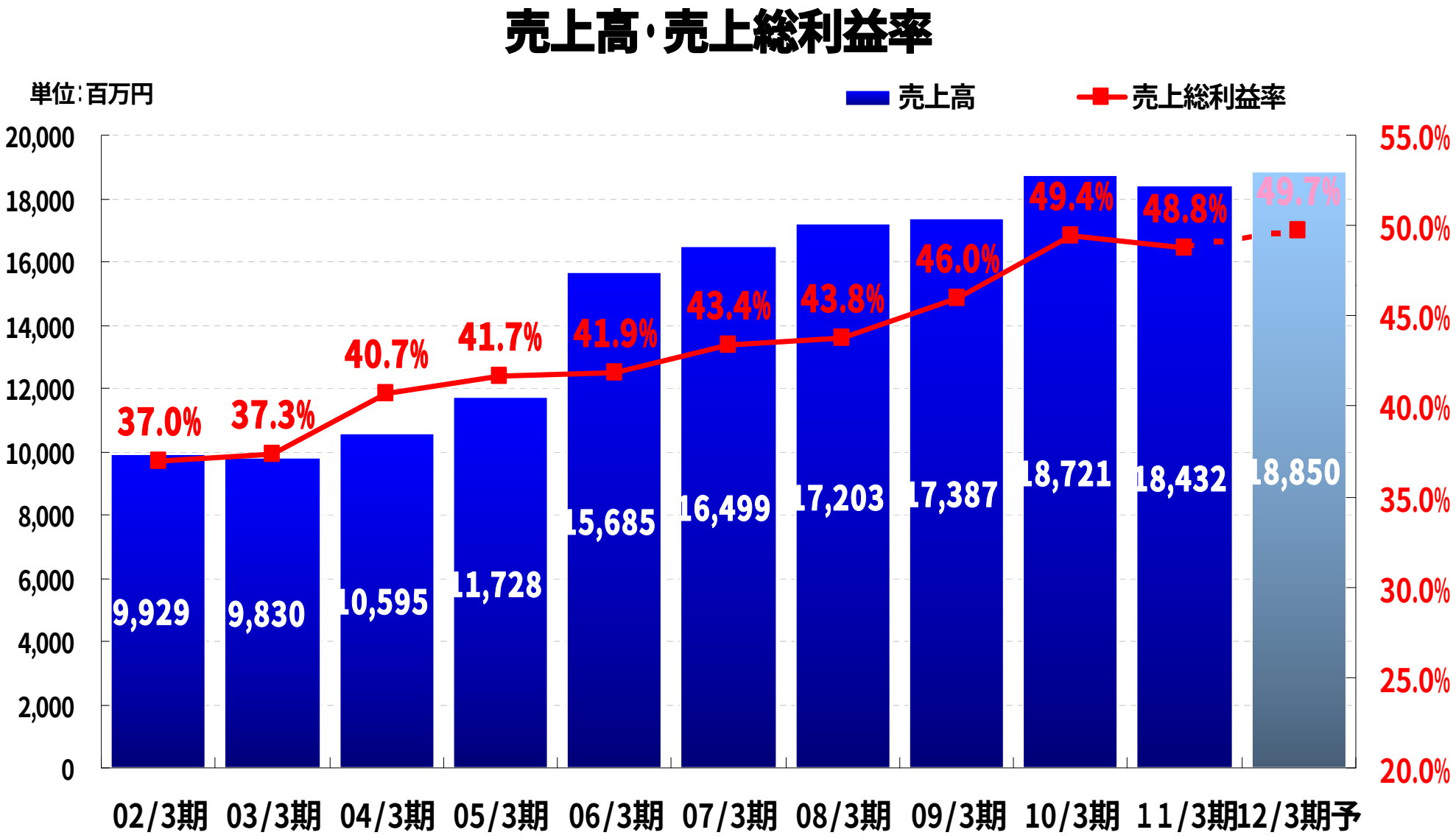


御菓子司 築地 ちとせ 本店

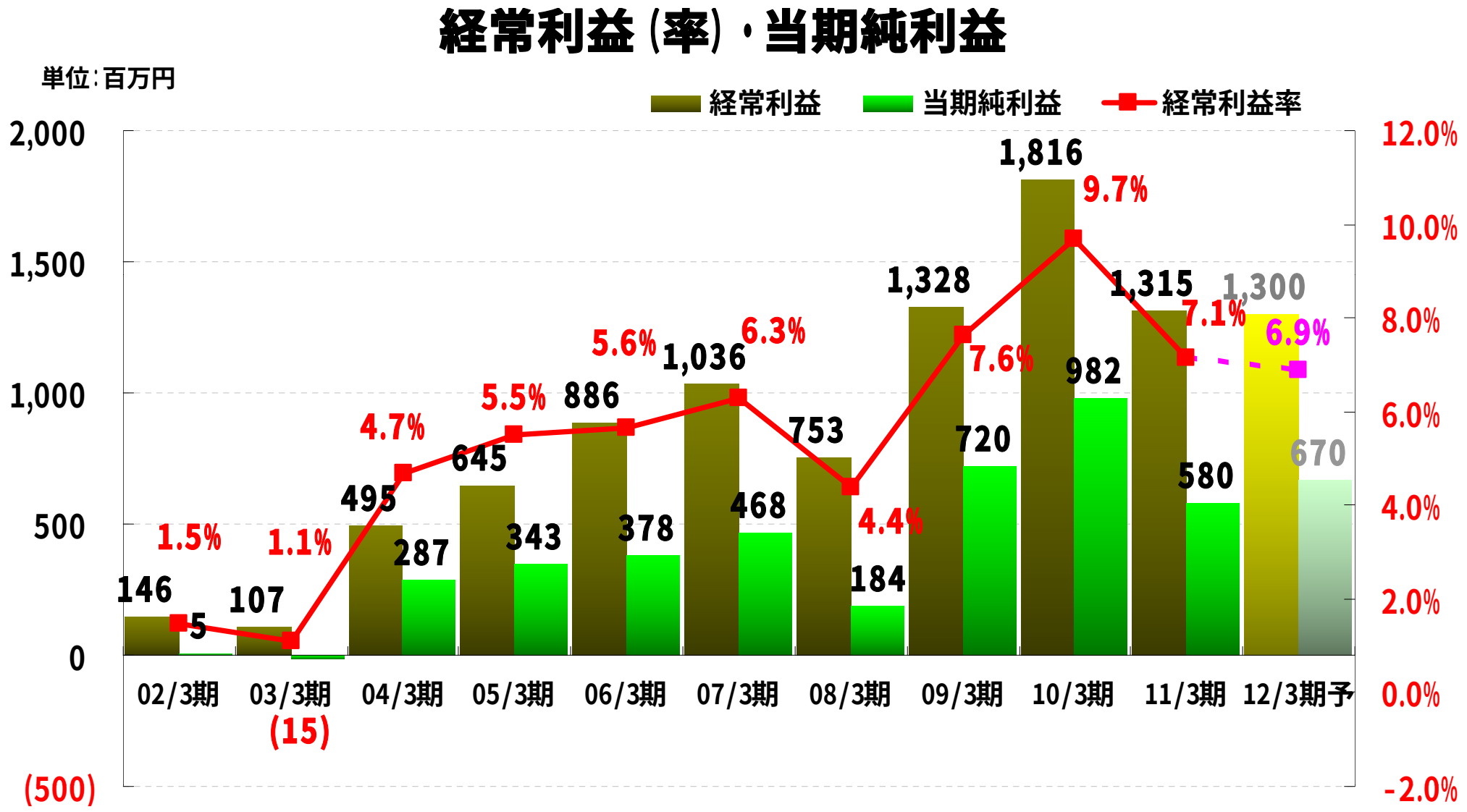


“九十九島せんぺい”

１０年間の業績推移（売上高・売上総利益率）



１０年間の業績推移（経常利益（率）・当期純利益）



経営理念について

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

寿スピリッツグループは、「喜びを創り喜びを提供する」を経営の基本理念に、これをすべての事業活動の指針として、地域社会に貢献する企業集団として事業活動を行っております。

シンボルマーク



「寿スピリッツ」社名の由来

当社グループが積極果敢で熱い精神を引き継ぎ、
これからの時代を全力を切り拓き、
より大きな喜びを創造していく会社へ。
そのような念いで新社名『寿スピリッツ株式会社』を制定し、
シンボルマークには
社員一人ひとりの気持ちが重なって“輪”になるという意味が込められています。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学（フィロソフィー）を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、

すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

≪こづち発表全国大会≫

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。





寿スピリッツグループとは（企業ビジョン）

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドの総合プロデューサーです。

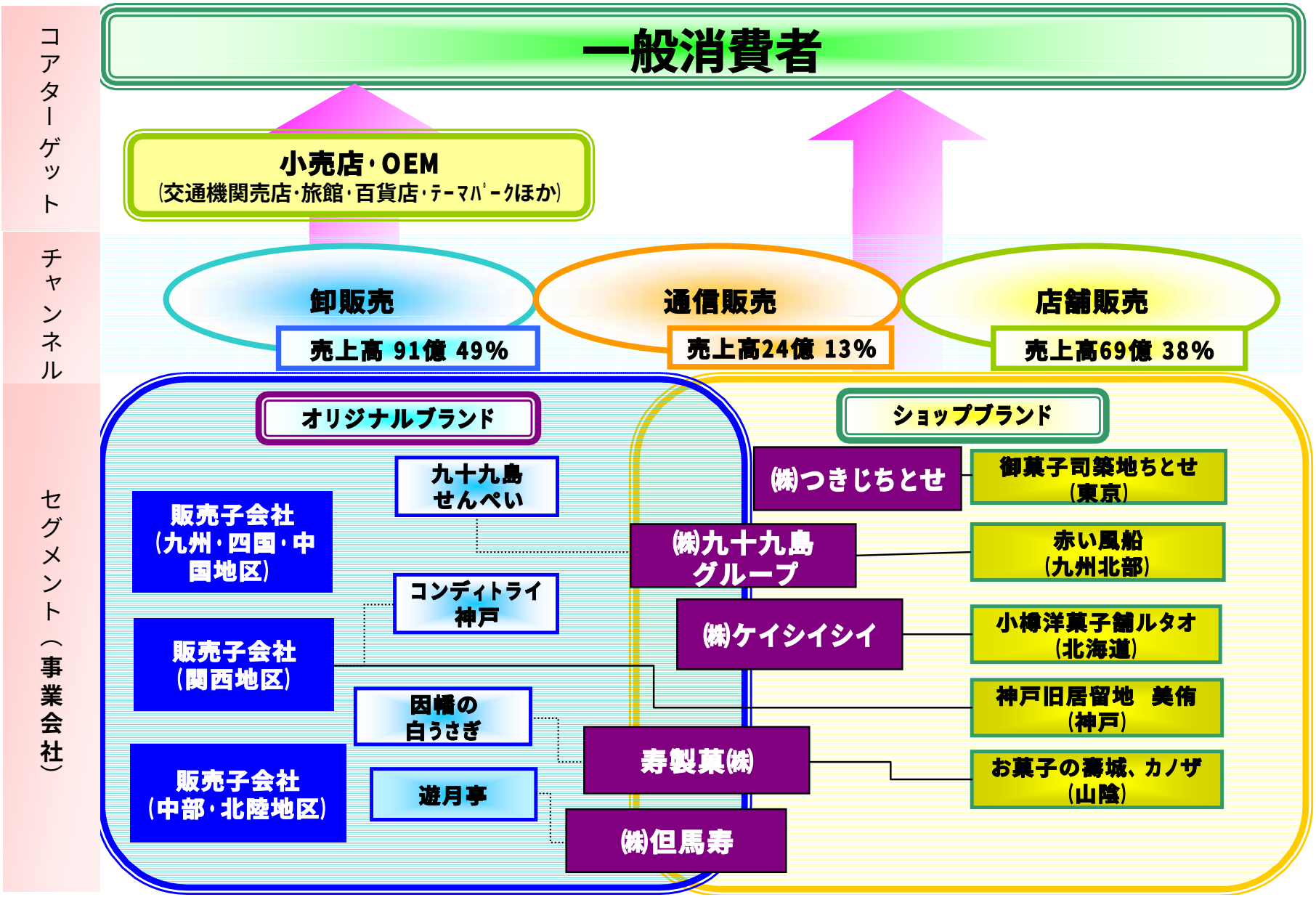
～お菓子を通して地域文化を全国に発信～

～新たな価値を創造するチャレンヂ企業～



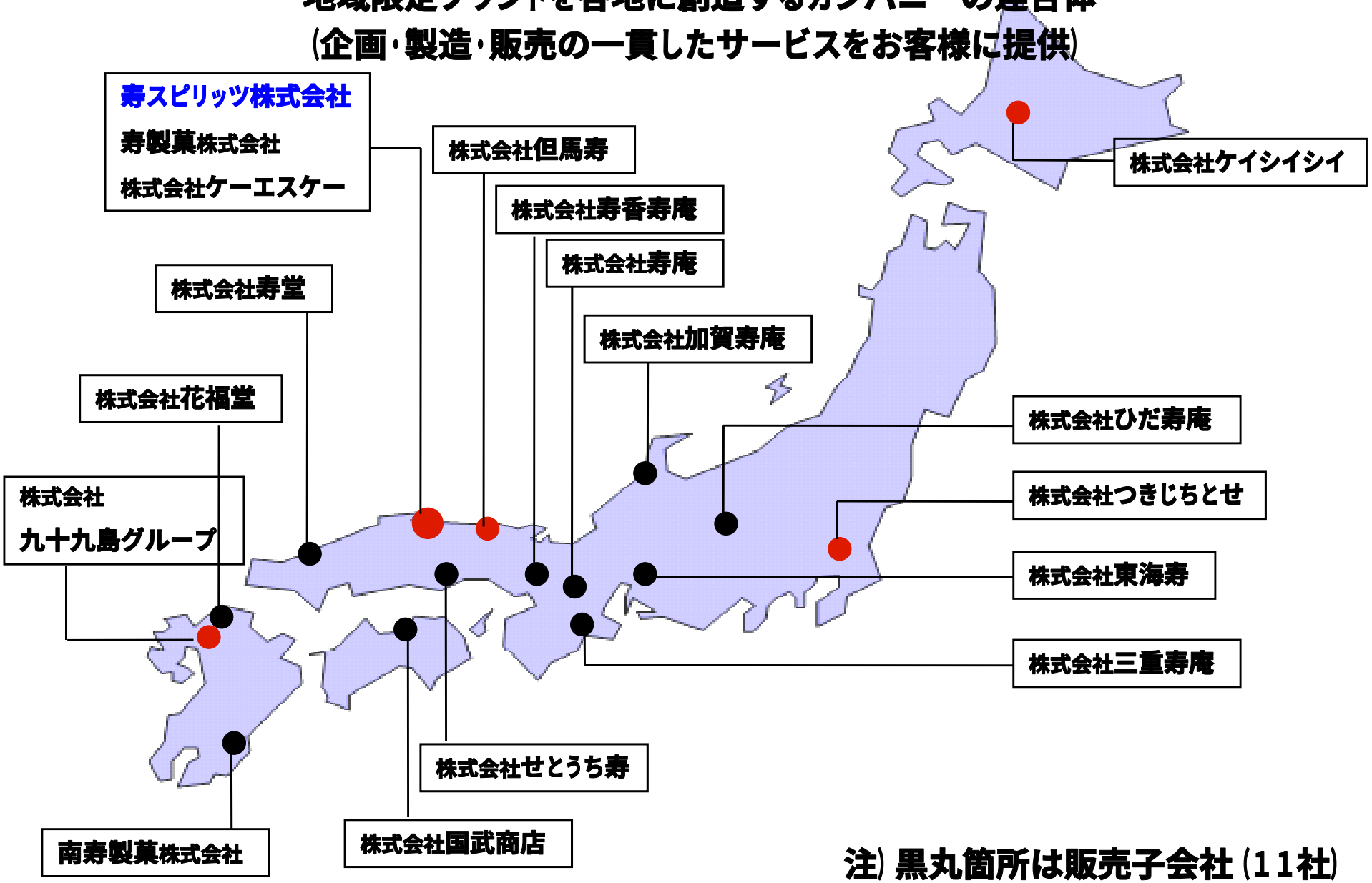
事業概要

※チャンネル数値は11/3期実績と連結業績に占めるシェア



特徴１　独自のビジネスモデルを構築

北海道から九州まで全国を網羅する販売プラットホーム、製造拠点を活用し、
地域限定ブランドを各地に創造するカンパニーの連合体
（企画・製造・販売の一貫したサービスをお客様に提供）



注）黒丸箇所は販売子会社（１１社）

特徴 2

純粋持株会社体制に移行 (06年10月～)

グループ各社の専門性を活かし、相乗効果を最大限に発揮した
連結経営により更なる成長を目指します。



寿心

熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」
の行動指針を言い現した標語であります。

≪ケイシイシイ（LeTAO）≫

●ルタオ13周年記念イベント

2011年5月14･15日、上顧客様のご招待会を今年はオープン直前のパトスにて開催しました。





●ハロウィンパーティ開催



●料理教室開催



≪寿製菓≫

●「お菓子の壽城　大感謝祭」を開催！

2011年10月1日･2日、日頃のご愛顧に感謝して、地元のお客様に向けた様々な催し物でご来城のお客様をおもてなししました。







●ガイナーレ鳥取（ＪＦＬ）とクラブスポンサー契約

2010年シーズンよりガイナーレ鳥取のユニフォームに寿製菓のロゴが付きました。

2011年シーズンＪ２に昇格！



≪九十九島グループ≫

●「九十九島の日」キャンペーン実施

2011年9月18.19日の「九十九島感謝デーに、得意先120名をお招きしてクルージング企画実施。





●九十九島よさこいチーム活躍！

今年も「YOSAKOI させぼ祭り」に参加。
4年連続ファイナルに進出し「西海パールシーリゾート賞」を受賞。





≪但馬寿≫

● 2011年7月31日、お客様40名を
お招きして「遊月亭夏のつどい」を実施

バーベキュー、すいか割り大会等のイベントで
お楽しみ頂きました。







≪株主懇談会での取組み≫

2011年6月24日に定時株主総会終了後に開催された株主様との懇談会
グループのパティシエ4名の実演によるオリジナルデザートが大好評





